

【 記 入 例 】

(第1号様式)

新年度の学年を
記入してください。

※記名押印または署名
(自署の場合は押印省略可)

世帯の状況および収入額・需要額 書

学校名	部	学年	幼児・児童・生徒
〇〇立〇〇〇〇学校	小学部	6	神奈川 一郎
住所	保護者氏名		
神奈川県横浜市日本大通100-1-2 (神奈川県横浜市中区海岸通200-9)	神奈川 太郎		
世帯の状況 (生計を共にする方の前年12月末現在を記入)			
氏名	生年月日	満年齢	在学学校名・学年 (特別支援学級通学の有無)
本人 神奈川 一郎	H18年9月30日	11才	〇〇立〇〇〇学校小学部5年(有)
2 保護者 神奈川 太郎	S48年9月14日	44才	前年12月末現在の年齢と 在学学校を記入。
3 神奈川 花子	S52年6月15日	40才	
4 神奈川 次郎	H19年8月1日	10才	〇〇市立△△小学校4年(無)
5 神奈川 三郎	H22年11月3日	7才	〇〇市立△△小学校1年 特別支援学級(有)
6 湘南 ナミコ	S15年4月1日	77才	
7			特別支援学校・特別支援学級への通学の有無を 必ず記入してください。
8			
9			
10			
合 計			
通学証明	() ← → () 經由 〔) 円 × 1/12 = 〔) ※		
施設長の証明	上記の者は、当児童施設で措置費を受けて(いる・いない)ことを証明する。 当療育施設において療育の給付を受けて(いる・いない)ことを証明する。 年 月 日 施設名 施設長名		
特記事項			

現住所と
前年12月末現在の
住所が異なる場合
は、旧住所を下
段にカッコ書きし
てください。

※(同意事項)前年度の通学費の確認のため該当市町村教育委員会又は前校へ照会することに同意します。
※(同意事項)住民基本台帳ネットワークシステムによる本人確認情報の取得について同意します。

【 担当確認用 】

※記名押印または署名
(自署の場合は押印省略可)

(第1号様式)

世帯の状況および収入額・需要額 書

学校名	部	学年	幼児・児童・生徒
※現在の学部・学年か確認			
住所	保護者氏名		
※現在住所か確認			
世帯の状況 (生計を共にする方の前年12月末現在を記入)			
	氏名	生年月日	満年齢 在学学校名・学年 (特別支援学級通学の有無)
1	本人		才
2	保護者		才
3			才
4			才
5			才
6			才
7			才
8			才
※前年度(小1~中3)に就学奨励費の通学費として支給された額 ※前年度他校に在籍していた場合は、前年度の在籍校または教育委員会に照会する。 ※同一世帯の者(兄弟等)で通学費の支払があった場合も同様に照会する。			
合 計			
通学証明	(自宅) ← → (学校)	經由	
	[16,800] 円 × 1/12 = [1,400]	※小数点以下四捨五入	
施設長の証明	上記の者は、当児童施設で措置費を受けて(いる・いない)ことを証明する。 当療育施設において療育の給付を受けて(いる・いない)ことを証明する。		
	年 月 日	施設名 施設長名	印
特記事項			

所得証明書と扶養の人数があっているか

年齢や学年は前年の12月31日現在で記入されているか

※前年度(小1~中3)に就学奨励費の通学費として支給された額
 ※前年度他校に在籍していた場合は、前年度の在籍校または教育委員会に照会する。
 ※同一世帯の者(兄弟等)で通学費の支払があった場合も同様に照会する。

※小数点以下四捨五入

※(同意事項)前年度の通学費の確認のため該当市町村教育委員会又は前校へ照会することに同意します。

<支弁区分の計算の仕方>

- 世帯の状況から保護基準早見表により教育扶助・生活扶助・住宅扶助の額を計算し、需要額を算定
- ↓
- 所得証明証から収入状況を計算し、収入額を算出
- ↓
- 需要額と収入額の割合によって支弁区分を決定。

※データをシステム入力する場合は、この部分の計算はシステムが行うので打ち出し後に内容を確認